

1 2点×7	a 造形的	b 社会	c 美術文化	d 表現方法	
	e 働き	f 主題	g 感性		
2	(1)	① (本題材の主題を生み出すための視点を与えている…3点)			
		(ねらいに近づけるよう授業展開をイメージして作品数を決めている…3点)			
		② 植物や鑑賞作品、生命感という言葉を手がかりに、生徒が感じたことや考えたことを引き出そう			
		とする手立て…6点			
		③ 自分の考えや表現の意図、工夫を、形や色彩などによってどう伝えるのがよいかを			
		学ぶことが重要であると踏まえたうえで参考にしてよい…6点			
	(2)	絵や彫刻などに表現する活動のうち、つくる活動にあたる題材に必ず一つは取組み、			
		第2、第3学年で全ての事項を指導するようにする。…6点			
3 2点×4	ア ○	イ ×	ウ ×	エ ×	
4	(1) 各2点	ア 地獄の門		イ オーギュスト・ロダン	
		ウ コンスタンティン・ブランクーシ		エ ヘンリー・ムーア	
	(2)	g 2点			
	(3)	ウ d 2点	エ b 2点		
	(4) 5点	造形的な観点や技法、素材の特徴などから全体のイメージをとらえ、作者の表現意図に気づかせる主旨の記述があればよい。(例)「ヤナイハラ」は塑造表現をいかし、表面のごつごつした感じや、刻まれたようなテクスチャーから、モデルへのイメージや作者の意図が想像できる。「聖セシリア」は、首をかたげ、優し気に微笑む石彫作品である。磨かれた大理石の美しさは像のもつイメージと調和している。			
5	(1)	ア 屏風 3点	イ 襖絵 3点	ウ 掛軸 3点	
	(2) 4点	部屋の仕切りや風よけという役割があり、収納や移動もしやすい。折り曲げて飾られる屏風は折って立てた状態と、平らな状態とでは見え方が違う。			
	(3) 2点 ×8	エ 岩佐又兵衛	オ 金雲	カ 鳥瞰図	キ 俵屋宗達
		ク たらしこみ	ケ 余白	コ 尾形光琳	サ 酒井抱一
	(4)	琳派 3点	(5)	異時同図 3点	

